

1年生をむかえる会が行われました

4月17日には、1年生を全校の仲間へ迎え入れるための「1年生を迎える会」が行われました。この行事は、1年生を迎え入れると同時に、児童会役員と6年生が、今年度初めて全校のリーダーとして協力し、企画・運営する会です。テーマ「1年生を笑顔で迎え、明るく楽しい会にしよう」のもと、リーダーたちは準備を進め、当日を迎えました。

まずは、1年生の入場から始まり、1年生一人ひとり名前と好きな動物や食べ物、色など、6年生のインタビュー形式で自己紹介がありました。好きな食べ物をきいていくと、多くの子どもたちはラーメン・お寿司・チョコレートなどと話す中、全校児童をざわつかせたのは「ボロネーゼ」でした。「ボロネーゼって何？」と子どもたちのささやきが聞かれました。全員の紹介が終わると、仲間入りのためのメダルが、6年生より1年生一人ひとりの首にかけられました。中には、メダルをまじまじ眺め、笑顔を見せている子も見られました。

次に、○×ゲームと仲間集めゲームが行われました。○×ゲームでは、敷島南小学校伝統の敷南・レンジャーの登場でした。敷南・レンジャーと悪役が、1年生に敷島南小のことを知ってもらうためのクイズを出し合いました。○は赤白帽を赤に、×は白に、クイズに正解するごとに子どもたちの歓声が沸きました。続いて、仲間集めゲームをしました。敷南・レンジャーからお題が出され、その人数だけ異学年集団を作るというものでした。その中で、できるだけ1年生を入れるという条件があり、多くのグループが苦戦していました。そんな中、6年生はペアになっている1年生を連れ、他学年を入れながら素早くグループを作る姿が見られました。さすが6年生と感心しました。

最後は、1年生から全校の児童へお礼の言葉がありました。明るく楽しい雰囲気



の中、敷島南小学校の仲間入りができ、とてもよい会となりました。



1年生 交通安全教室

4月19日には、1年生が交通ルールを知り、安全に登校できるように、甲斐市の交通指導員の方々4人を招き、交通安全教室が開きました。DVDを見ながら、道路の歩き方や交差点での横断の仕方などをクイズで考えさせたり、模擬横断歩道を使って実際に歩いてみたりしました。



大型連休が始まる前に、道路の歩き方について学習できたことはよかったと思っています。ご家庭で、出かける際には、子どもたちと一緒に道路の歩き方を確認しながら歩いていただくとありがたいです。



始まりは不安がつきもの

山梨県警察発行『少年』に「新しい人や場所での生活は、これまで慣れ親しんできた人や環境との生活と異なり、自分の居場所が見つかりにくかったり何となく居心地の悪さを感じたり、心配や不安が少なからずあるものなのかもしれない。」という一節が書かれていました。

この時期、子どもたちは新しい場所や人で、大人が思っているより強く不安を感じることがあるかもしれません。朝、何となく、子どもの様子が気になったり、ぐずったりすることがあるかもしれません。これは、不安へのサインかもしれません。周りの大人は、年度始めで忙しく、なかなか子どもの話を聞くこともできず、時間に追われてしまいがちです。しかし、こんな時こそ時間を取って、子どもの話をじっくり聞き、励ますことが大切なのかもしれません。